

6月定例会一般質問は14日から18日まで行われ、15人の議員が雲南市が抱える様々な問題を取り上げました。多かったのは4月24日、「人口戦略会議」が将来的に消滅可能性があるとみなしました。

一般質問の主な論点

事業名	予算額			説明
	当初	補正	補正後	
コミュニティ助成事業 (大東町阿用地区)	0	2,000	2,000	宝くじ助成事業を活用し、地域防災活動に必要な備品等の購入
コミュニティ助成事業 (加茂まちづくり協議会)	0	1,000	1,000	宝くじ助成事業を活用し、通学路確保のための除雪機購入
コミュニティ助成事業 (吉田地区振興協議会)	0	1,000	1,000	宝くじ助成事業を活用し、独居高齢者対象の除雪支援事業強化のため除雪機購入
地域活性化センター助成事業 (掛合 project U)	0	1,500	1,500	草刈代行など地域若者による課題解決を手掛ける地域づくり団体への乗用草刈機補助
予防接種事業	140,430	72,708	213,138	高齢者インフルエンザワクチン接種 新型コロナワクチン接種(R6年秋)
水田園芸拠点づくり事業	0	23,775	23,775	水田園芸に必要な施設・設備への補助
道の駅さくらの里きすき 活性化事業	0	61,439	61,439	用地買収費、産直施設改修設計費 ほぼ全額を市債(借金)で賄う

6月定例会は6月27日、一般会計補正予算など補正予算5件、第三次雲南市総合基本計画構想など議案13件、速水雄一氏を名誉市民に推举する同意案件などを審議、可決しました。主な補正予算は左表のとおりです。

6月定例会 6/13～6/27

議会 報告 瑞風

発行 中林たかし事務所
雲南市加茂町神原733-4
電兼FAX 49-6373

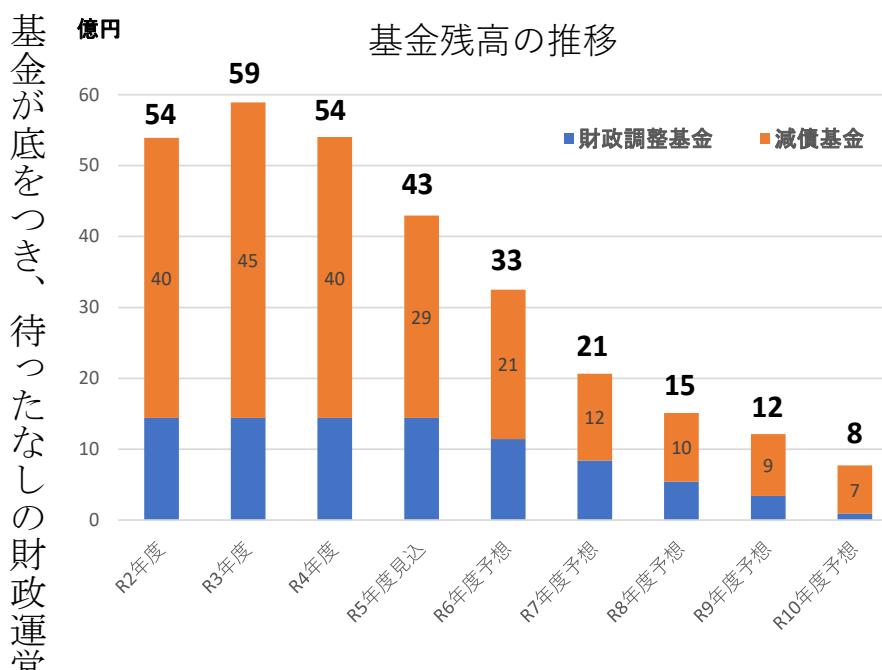


市制施行20周年記念事業

市町村の中に雲南市が含まれていたことから人口減少対策や財政運営をどう進めます。これを記念し、今年は様々な行事が予定されています。

実施月日	事業名	会場	内 容
令和5年12月	20周年記念ロゴマーク作成		ポスター、チラシ、懸垂幕等に使用
7月上旬～	プレミアムカタログ事業 (20周年記念販売)		雲南市商工会が実施主体で記念事業として内容の充実を図る
7月12日	全国史跡整備市町村協議会	チェリバホール	講演会
7月13日	雲南市大会	菅谷たら山内	現地見学会
8月4日	「開運！なんでも鑑定団」 テレビ収録	アスパル	テレビ東京番組
8月28日	NHK夏期巡回ラジオ体操	木次小 グラウンド	NHKラジオ生放送
10月12日	20周年記念式典 (メイン事業)	アスパル	記念式典、名誉市民顕彰ほか

上記他、大東よいとこ祭、加茂よつとい祭、きすきがっしょ祭、みとやっこ祭等も協賛で様々なイベント開催予定



一方、特定目的基金を除く基金（非常時のため余力が必要）の推移が左です。

事業名	時期	金額 (凡そ見込)
①道の駅きすき駐車場	今年度から	4億円弱
②ラメール大規模改修	今年度から	21億円
③木次中学校建替え	今年度から	40億円
④交流センター建築 幡屋、民谷	今年度から	9億円弱
⑤旧本庁舎、旧久野小、 加茂小プール等解体	今年度から	10億円
⑥中村団地現地建替え	今年度から	10億円弱
⑦学校建替え 海潮小、阿用小 加茂小、加茂中など	今後	100～200億円 それ以上とも
⑧次期可燃ごみ焼却施設 雲南市・奥出雲町・飯南町共同事業	令和13年度 までに建設	200億円とも

⑦は中林が予想する事業、⑦及び⑧の金額は中林の推定

財政運営に問題はないか？
ラメールの大規模改修の是非など市の財政に関し、お問合せやご意見を頂くことが多くなりました。
本年度から始まる、及び今後予定される大規模事業をまとめたのが左表です。

市制施行20周年記念式典において初代雲南市長として4期16年にわたり市政の発展に寄与された速水雄一氏が名誉市民として顕彰されることになりました。速水氏の功罪について市井では様々な評価がありますが、①合併当初あつた多額の市債（借金）を圧縮するため財政非常事態宣言を発出し財政再建に当たられたこと、②市民による小規模多機能自治を推進されたこと、③合併後15年間、適用された合併算定替えによる交付税の減額幅の縮小に全国首長の先頭に立つて尽力（雲南市財政に約93億円の寄与＝H26～R2、中林試算、今後も効果は持続）されたこと、等は特筆すべき成果です。

名誉市民に速水雄一元雲南市長

を余儀なくされます。改めて必要な事業は何か、不要な事業はないか、市民を巻き込んだ議論が必要ではないでしょうか。



◎ホテル名
ドーミーインEXPRESS 出雲の國雲南
◎建築概要
鉄筋コンクリート造5階建94室

今後は木次駅前地区の再開発にむけた事業化に軸が移ります。中心市街地活性化協議会はプランを取りまとめ、6月19日に市長あて提言書を提出しました。

平成28年度からスタートした雲南市中心市街地活性化事業は、ドーミーインが今年5月に着工、来年夏頃のオープンにむけ準備が進められています。これにより熊谷地区の事業は一区切りとなります。

中心市街地活性化事業、次ステージへ

中林たかしの一般質問



雲南市将来像について

人口戦略会議が公表した消滅可能性自治体に雲南市が含まれている。本市の人口減少に歯止めがかからない、対策を伺う。

答（市長）

社会減の改善や定住者の増加など一定の成果はみられるものの社会像には至っていない。高校生が進学等で市外に流出した後のUターンが少ないことから、高校卒業生とのつながりを持つために雲南省の情報誌を作成し継続的に配布する、大学生のインターナンシップの充実等に努める。市保有の遊休地や地域から要望のある土地を活用して住宅地を整備する考えは、まとめ、切れ目なく住宅供給を進める。

現在、雲南市土地開発公社では今後10年後を見据えた第3次総合計画を策定中。住宅地として可能性のある場所の選定作業を行つており年内をめどに計画を取りまとめ、切れ目なく住宅供給を進める。

答（副市長）

島根県を通じて確認したところ、前提を置かず協議を行う趣旨だと聞いている。県や沿線自治体と相談しながら対応していく。大前提として、廃止を意図する議論は受け入れることはできない、と考える。

教育について

教育長就任に当たり抱負、どのような考えで職務を遂行する考えか伺う。

問

本市は小中一貫教育と義務教育学校についてどう考えるか。市民を巻き込んだ議論は十分といえるか。

答

教育について

私が目指す教育は雲南市に誇りを持つ子供の育成、子供を中心にして学校教育の推進、豊かな人間性を持ち予測不能で変化の激しい社会へ対応できる子の育成だ。

市内児童生徒の虫歯り患状況伺う。

答（教育長）

令和5年度、6歳児で約47%、12歳児で39%の虫歯があつた。本市は全国より高い数値となつていて。

答（市長）

令和4年度調査で小学生が国1.7%、県2.4%、本市2.5%、中学生が国6%、県6.7%、本市は8%と小中いづれも高い状況だ。

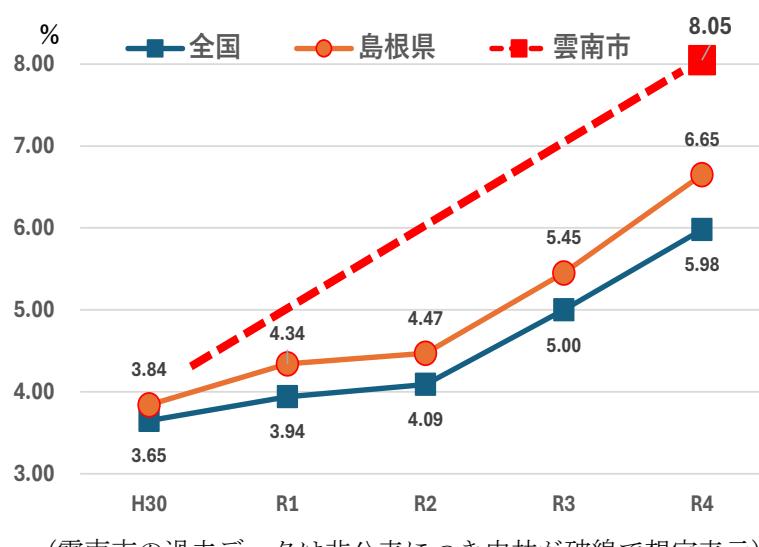
答（教育長）

令和4年度調査で小学生が国1.7%、県2.4%、本市2.5%、中学生が国6%、県6.7%、本市は8%と小中いづれも高い状況だ。

答（市長）

卒業生とのつながりを持つために雲南省の情報誌を作成し継続的に配布する、大学生のインターナンシップの充実等に努める。

雲南市中学校生徒の不登校の割合



問

不登校の原因ははつきりしない部分が多く、また、個別の状況もあり原因が究明できていない。不登校はだれにも起こりうることだと認識し取り組んでいる。

答（農林振興部長）

林業について

本市は小中一貫教育と義務教育学校についてどう考えるか。市民を巻き込んだ議論は十分といえるか。

令和元年度に策定した小中一貫学園化構想では令和7年度を目途に学校、学校運営委員会、地域自主組織、教育委員会で小中一貫学園化構想について協議する予定だ。しかし、コロナ禍で地域や保護者へ説明が十分できなかつたため計画通りに進んでいない。

答（教育長）

令和5年度、6歳児で約47%、12歳児で39%の虫歯があつた。本市は全国より高い数値となつていて。

答（市長）

令和4年度調査で小学生が国1.7%、県2.4%、本市2.5%、中学生が国6%、県6.7%、本市は8%と小中いづれも高い状況だ。

答（教育長）

令和4年度調査で小学生が国1.7%、県2.4%、本市2.5%、中学生が国6%、県6.7%、本市は8%と小中いづれも高い状況だ。

答（市長）

卒業生とのつながりを持つために雲南省の情報誌を作成し継続的に配布する、大学生のインターナンシップの充実等に努める。

問

本市の林業の状況、市等が所有している森林面積、資源量を伺う。

答（農林振興部長）

林業について

本市は小中一貫教育と義務教育学校についてどう考えるか。市民を巻き込んだ議論は十分といえるか。

市産材の公共建築物への利用が十分でない。モデル的な事業も必要ではないか。

答（農林振興部長）

雲南市木材利用促進に関する基本方針に従い500m²以下の建築物は木造化を基本、500m²以上の建築物は内装の木造化を進めている。

答（市長）

本市の林業は生業となりうるか。生業とするためにはどうすればよいか。

答（農林振興部長）

森林組合等の法人経営体は利潤を追求する企業体として事業展開、森林組合へ経営委託されていない個人経営体では収益が望めないことから生業となつていてない。

そのため、市では山林の団地化、集約を進めることで施業の効率化、経費削減と販路拡大に取り組み収益力の向上を目指す。

問

今回の一般質問は、市内小中学校の現場における状況と課題を取り上げました。データを見る限り、想像以上に厳しい状況が見えていました。対策が急務です。また、市制施行20周年記念事業はイベントだけでよか

つたでしょうか、今後20年、30年先を見据えたまちづくりを議論する機会があつてもよかつたのではと思ひます。（たかし）

問

雲南市市制施行20周年記念式典、20周年記念ロゴマークの作成、「開運！なんでも鑑定団」公開収録、「水曜どうでしょうキヤラバンin雲南市、N H K 夏季巡回ラジオ体操などがある。

答（総務部長）

今回の一般質問は、市内小中学校の現場における状況と課題を取り上げました。データを見る限り、想像以上に厳しい状況が見えていました。対策が急務です。また、市制施行20周年記念事業はイベントだけでよか

つたでしょうか、今後20年、30年先を見据えたまちづくりを議論する機会があつてもよかつたのではと思ひます。（たかし）

市制施行20周年について

今回の一般質問は、市内小中学校の現場における状況と課題を取り上げました。データを見る限り、想像以上に厳しい状況が見えていました。対策が急務です。また、市制施行20周年記念事業はイベントだけでよか

つたでしょうか、今後20年、30年先を見据えたまちづくりを議論する機会があつてもよかつたのではと思ひます。（たかし）